
多面的機能支払 メールマガジン

「農村ふるさと保全通信」第 74 号(2019. 10. 28)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 74 号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、景観形成活動として遊休農地への花の植栽等に力を入れている組織と、特定外来植物の早期駆除による地域の生態系の保全に取り組んでいる組織を紹介します。

事務局からは、活動組織の代表者インタビュー、イベント出展、農村振興局フェイスブックについて紹介します。

--- 第 74 号の目次 -----

1. 活動組織の活動紹介

☆ ^{しらさと}白里 地区広域活動組織（千葉県 ^{おおあみしらさと}大網白里 市）☆

☆ ^{あらかため}荒堅目 地区農村環境保全組合（佐賀県 ^{かんざき}神埼 市）☆

2. 活動組織の代表者インタビュー

☆ ^{いわみさわみなみ}岩見沢南 地域資源保全協力会（北海道岩見沢市）☆

3. 「コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ」に出展しました！

4. 農村振興局フェイスブック

☆台風第 19 号の被災地域で多面的機能支払交付金・中山間地域等直接支払交付金に取り組んでいる農業者の皆様へお知らせ☆

（編集後記）

■ 1. 活動組織の活動紹介(1)

～ 白里^{しらすと} 地区広域活動組織(千葉県 大網白里^{おおあみしらすと} 市)～ ■

～地区概要～

千葉県東部九十九里平野のほぼ中央に位置する平地農業地域を拠点に活動。

活動範囲は、田 437ha、畑 129ha、水路 167km、農道 39km、ため池 1箇所。

～主な取組～

- ◎本組織は、農業者の高齢化等により遊休農地が発生したことを契機に、本交付金を活用した地域の共同活動に取り組んでいます。
- ◎基礎的な保全活動として、農地法面や遊休農地の草刈り、水路の泥上げ等を行っています。また、景観形成活動として桜やコスモス等の植栽、遊休農地を活用して花壇の設置や地域住民とのサツマイモ等の収穫交流会を行っています。
- ◎施設の長寿命化については、機能診断結果により優先度を順位付けすることで、地域全体の営農に支障が生じることのないよう、計画的な補修に取り組んでいます。
- ◎また、交付金の効率的な活用のため構成員自らが直営施工を行っており、バックホウ等を操作して水路を浚渫しています。
- ◎地域内では、住民が一体となって地域資源の保全管理を行うことで農地利用に関する話し合いも進んでいます。今後、後継者不在の農地を中心に法人組織及び担い手農家に集約を図っていくとともに、教育機関と連携し、水資源確保の大変さ・大切さの普及啓発などを進めていきたいです。



遊休農地を活用した植栽活動



機能診断の様子



構成員による水路浚渫

【白里地区広域活動組織 会長 内山 昌毅】

■ 1. 活動組織の活動紹介(2)

～^{あらかため}荒堅目^{かんぜき}地区農村環境保全組合(佐賀県神崎市)～ ■

～地区概要～

佐賀県東部に位置する神崎市の南部地域で、集落中心部を流れる^{ばば}馬場川沿いの平地農業地域を拠点に活動。

活動範囲は、田 32.9ha、畑 2a、水路 9.3km、農道 3.5km。

～主な取組～

- ◎本組織は、地元農家が主体ですが、自治会や老人クラブに所属する非農業者の地域住民も構成員として参加しています。地域ぐるみでの活動を通して、農村環境の向上を目指しています。
- ◎地域住民全体で、クリーン作戦や、農道などへの花の植栽など集落の景観向上に努めています。自分たちの住む集落の環境を自分たちの手で綺麗にしていくという活動を行うことで、故郷への親愛を育み、住民の世代間交流の活性化を推進しています。
- ◎また、生態系の保全として、ジャンボタニシの駆除や特定外来生物ブラジルチドメグサの除去を行っています。特に、在来種の生育を妨げるブラジルチドメグサの早期駆除を行い大規模な繁殖を防いだことで、水辺の生態系が保全されています。
- ◎集落一帯は、低平地であるがため大雨による道路の冠水や農地への浸水がたびたび発生することから、雨上りには農地・農道・水路の点検や堆積物除去を行い、機能維持に努めています。
- ◎今後も、「自分たちが住む場所は自分たちで守る」との意識を大切にし、地域が一体となって活動に取り組んでいきます。



住民参加のクリーン作戦



花の植栽による景観形成



除去したブラジルチドメグサ

【荒堅目地区農村環境保全組合 代表 森 新市】

■2. 活動組織の代表者インタビュー

～^{いわみざわみなみ}岩見沢南 地域資源保全協力会(北海道岩見沢市)～■

組織の概要

北海道の中央部よりやや西方、石狩平野の東部に位置する岩見沢市を拠点に活動。認定農用地は、田 1021.4ha、畑 72.9ha。対象施設は、水路 172.1 km、農道 58.1 km。平成 19 年度の農地・水・環境保全向上対策の制度開始時から共同活動に取り組んでいる。

～インタビュー～

Q：この活動組織を立ち上げようと思ったきっかけを教えてください。

A：平成 19 年度から農地や資源を保全する農地・水・環境保全向上対策が始まる旨を土地改良区から説明されたことがきっかけです。地域間の連携の強化や農家戸数の減少を背景に、土地改良区や支線組合の役員たちが地域に働きかけを行い、5つの農村集落と3つの支線組合の区域を認定農用地として、この活動組織を立ち上げました。



左：峯 真奈美（構成員）

中央：峯 淳一（会長）

右：峯 正寛（構成員）

Q：組織の代表となった経緯は何ですか。

A：私は組織の設立準備の事務局を担っていたこともあり、代表になることとなりました。組織の代表は、過去の諸先輩方から脈々と引き継がれ、なるべき時期に代表となるよう順番がある程度決められています。前代表も組織役員から選出されていて、次期代表もすでに決まっており、スムーズな世代交代がなされる体制が整っています。

Q：構成員と関わる上で心がけていることはありますか。

A：全体の会議や役員会の中で、一人でも多くの構成員から質問や発言をいただけるように努めています。組織の役員と構成員を区分けせず、同じ目標や計画に向かって進められるよう、配席を工夫したり、発言者の意

見を最後まで聞くなど、組織内でルール化して意見交換をしています。意見交換時は必ずしも同じ意見になるとは限らず、反対の意見が出る場合もあります。様々な意見やアドバイスをいただきながら改善方法を模索し、よりよい活動を目指して舵を取るよう心がけてます。

Q：どのような活動をされていますか。

A：組織設立当初から景観形成のために取り組んだ延長 5.4 kmのエゾヤマザクラの植栽や、防災・減災に向けて水田の貯留効果を高める田んぼダムの取組などがあります。

エゾヤマザクラの植栽については、防虫対策など維持管理する上では手間がかかる部分ではありますが、事業取組前には無かった四季折々の表情を見せる桜は、地域住民にとって心の安らぎとなっています。

田んぼダムの取組については、当地域が川と川に囲まれた低地帯にあり、水害が多数発生していることから、降雨時における河川の急激な増水を防ぐために取組を開始しました。市役所や土地改良区などの関係機関との迅速な連絡体制の強化や降雨状況に応じた集落間の連携体制の構築など、地域独自の行動計画を作成し活動しています。

Q：新たに取組みたい活動等がありますか。

A：今後取組みを増やしていく際は、組織内で話し合いを行い、取組みやすいところから取り入れてみたいと思います。近年、当地域の農家戸数は年々減少し、また、地域内の耕作者の4割が地域外から農地へ通っている現状です。今後の地域のあり方としては、地域の活性化のためにも地域住民が当地域の農業・農村を知り、触れていただく機会も大切だと考えています。また、私個人の意見ですが、学校教育等と連携して水田周辺の生き物調査等を行い、田んぼの生き物年表の作成や、豊かな生態系の中で育った農産物の素晴らしさを伝えていくことも検討していきたいですね。

Q：今後の目標を教えてください。

A：法制化された多面的機能支払制度ですが、農業者だけがこの制度の受け手ではなく、社会における農業の必要性や農業の様々な機能を伝えることのできる素晴らしい制度であることを、多くの方々に理解していただけるような働きかけが大切だと思います。生態系や農村環境に配慮した農業を実践し、保全する取組等を地域ぐるみで行うことにより形成された里山や風土が、地域住民はもちろんのこと、訪れた方々の心のよりどころとなればと思っています。

【北海道日本型直接支払推進協議会】

■ 3. 「コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ」に出展しました！ ■

10月20日（日）に開催された「コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ」に農林水産省多面的機能支払推進室が出展しました。ブースでは、パネル展示や「田んぼの生き物探検 VR」体験のほか、本交付金の取組をきっかけとして生まれた商品の展示を行いました。商品展示では北海道北竜町役場に協力いただき「北竜ひまわりライス」などのPRも行いました。

VR体験をした子ども達はあちこちを見回しながら、水路の中やザリガニの映像を見て様々な感想を口にしていました。

また、土砂崩れや洪水防止、景観形成などの農業・農村の多面的機能に関するアンケートも同時に実施しました。アンケートを行っていく中で「田んぼにこんな働きがあるとは知らなかった」、「子どもにも教えてあげたい」等のご意見をいただき、多面的機能や本交付金制度について広く理解してもらえる良いきっかけになりました。



【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■ 4. 農村振興局フェイスブック ■

多面的機能支払交付金による取組は、農村振興局フェイスブックでも紹介しています。

【台風第 19 号の被災地域で多面的機能支払交付金・中山間地域等直接支払交付金に取り組んでいる農業者の皆様へお知らせ】

本記事では、被災地域での多面的機能支払交付金・中山間地域等直接支払交付金を活用した復旧活動や、返還措置の免除についてのお知らせを行っています。詳しくはフェイスブックの記事をご覧ください。

▽記事はこちら（Facebook リンク）（10月16日投稿）▽

<https://www.facebook.com/nouson.maff/posts/2328559977396420>

▽台風 19 号等に関する情報はこちら▽

http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/bunshyo/saigai/191025_4.html

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】



見てね！



■編集後記■

この度、台風 19 号等により被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。記事にも掲載しましたとおり、多面的機能支払交付金を用いて復旧作業に取り組むことができます。被災地の 1 日も早い復旧をお祈りいたします。

さて、前回のメルマガ編集後記でランニングを始めたことをお伝えしましたが、日頃運動を全くしていない私が突然 8km も走ったことで、走れないくらいの膝が痛くなってしまいました。走りたい気持ちはあっても走れない、自分の運動不足を強く後悔していますこれからはまずストレッチと体力をつけるトレーニングを行っていきたいと思います。

◇バックナンバー◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html



バックナンバーはこちらからもご覧いただけます！→

◇令和元年度多面的機能支払交付金のあらまし◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。
どんどんご活用ください！！



高めよう 地域協働の力！

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/H29/pdf/logo.docx

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：藤田、新谷）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
